

2022年度 保育園・保育士の自己評価

特定非営利活動法人深川市公私連携保育会

「保育所保育指針」において、保育士及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。当法人ではこれに基づき検討し、保育の質の向上を図るため、保育園及び保育士の自己評価を実施しました。

評価の結果を踏まえ、今後の保育計画・保育内容等の改善に活かし、改善していくことでより良い保育を提供できるよう努力していきます。

納内保育園の自己評価				
<p>2022年度、保育園及び職員の自己評価について下記の通りご報告いたします。総合評価は最後に記載しています。</p> <p>ねらい：保育所の役割や社会的責任を遂行するために、法令等を遵守し、保育所を取り巻く社会情勢などを踏まえ、その専門性の向上に努め、望ましい保育所運営をするため、今年度の当保育園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画(全体的な計画)に生かすため本表を活用します。</p>				
<p>評価の目安：A・・・出来ている B・・・ある程度出来ているが十分ではない C・・・あまり出来ていない又は出来ていない</p> <p>回答者：園長 浦田 由佳子</p>				
自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
1 保育 目標 につ いて	(1) 子どもの最善の利益を考慮した「保育理念」が明示されているか。	○		
	(2) 保育理念に基づく基本方針・目標が明示されているか。	○		
	(3) 保育方針・保育目標が活かされるような保育内容を考えているか。		○	
	(4) 年齢別目標は、保育目標や乳幼児の実態に即して設定しているか。		○	
	(5) 目標は前年度の反省を活かしているか。		○	
	(6) 理念や方針、目標が職員、利用者に周知されているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
<p>●保育目標や保育内容を保育士が同じ捉え方をしていないことがあり、保育士同士の話し合いができる場の必要性を感じました。次年度の取り組みとしたいです。</p>				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
2 保育・ 行事について	(1) 保育計画(全体的な計画)が保育方針に基づき作成されているか。		○	
	(2) 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき指導計画を改定しているか。		○	
	(3) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○	
	(4) 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めているか。		○	
	(5) 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができ、見通しを持ちながら進めているか。		○	
	(6) 子どもが自発的に活動できる環境が整備されているか。		○	
	(7) 様々な表現活動が体験できるように配慮されているか。		○	
	(8) 同年齢及び異年齢児間の効果的活動の充実を図っているか。		○	
	(9) 行事のねらいや実施回数などの内容を検討し、改善に努めているか。	○		
	(10) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○	
	(11) 評価結果を基に保育の改善に努めているか。PDCA サイクルを取り入れているか。		○	
○評価の根拠、●改善策				
<p>○感染症を予防しながら、行事をほぼできたことは良かったです。</p> <p>○年々園児が少なくなる中、未満児と以上児と一緒に過ごす時間が多く自然と効果的活動が充実しているのは良いことだと感じています。</p> <p>●保護者の願いや意見は、簡単なものは受け止めできる範囲で改善しているが、保護者全員の意見となると聞く機会がなく引き続き考えていきたい。</p>				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
3 健康・安全について	(1) 保育士・調理員が連携し、アレルギー児に対応する環境・体制にあるか。	○		
	(2) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○	
	(3) 危機管理意識を持ち、緊急時の対応できる体制・マニュアルの作成、保健対策を講じているか。	○		
	(4) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○	
	(5) 不審者等に対する周到な配慮を行っているか。	○		
	(6) 乳幼児の安全のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○		
	(7) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○		
	(8) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管されているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
<p>○今年度は消防士立ち合いの総合避難訓練のほか、警察官立ち合いで不審者訓練を行うことができた。また、警察官にその対応の仕方を詳しく聞くことができとても勉強になりました。</p> <p>○園庭遊具のはがれたペンキの塗り直しをしていただき安全に遊ぶことができています。</p> <p>●交通安全指導は、園外活動の際に踏切の危険性や交差点の渡り方などは話しているが、計画的には行うことができていなく今後検討していきます。</p>				

4 食育について	(1) 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせ、食育計画を立て、実践しているか。	○		
	(2) 旬の食材や行事食を取り入れ、様々な食材に触れ、味わえるようにしているか。	○		
	(3) 評価結果を元に食育の改善に努めているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
<p>○年間の食育計画に基づいて、クッキングやバイキングをしています。</p> <p>○園庭の畑で年長児を中心に色々な野菜を栽培・収穫し、食べることにより、苦手な野菜を食べれるようになってきました。</p> <p>○保育参観時に、親子クッキングを催し親子で楽しく食育の講話を聞き、試食会ができ良かったです。</p>				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
ついで 5 要保護・要支援児童に	(1) 虐待が疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長に届くようになっているか。	○		
	(2) 虐待が疑われる子どもの保護者への対応について、市関係機関、児童相談所等に通告、照合する体制が整っているか。	○		
	(3) 特別な支援を要する子どもに対して、職員全員で情報を共有し、チームで対応しているか。	○		
	(4) 特別な支援を要する子どもに対して、個別の指導計画を作成しているか。		○	
	(5) 特別な支援を要する子どもに対して、家庭や専門機関と連携を図っているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
<p>○今年度は、そう思われる園児はいなかったが、保育士が得た情報は園長・職員間で共有し、関係機関へ連絡するようになっています。</p> <p>○支援を要する子どもに対しても月1回の職員会議のなかで話し合い、どの保育士の指導も同じになるように努力しています。</p> <p>●個別支援計画作成にあたり準備を進めています。</p>				

6 組織・運営について	(1) 能率的・合理的な運営組織になっているか。		○	
	(2) 各種会議や打合せの回数、時間、内容は適切かつ効率的か。		○	
	(3) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○		
	(4) 職員間の連携が取れ、報告・連絡・相談等ができ、共同できる体制になっているか。	○		
	(5) 事業計画の策定、評価、見直しは組織的に行われているか。	○		
	(6) 事業計画は職員、保護者に周知されているか。	○		
	(7) 職員の意見を聞いたり、話し合う場を定期的に持っているか。		○	
	(8) 評価や記録を集積しているか。	○		
	(9) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○	
	(10) 苦情解決の体制づくりは出来ているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
<p>●保育士全員が出席しての会議ができなく、申し送りになり食い違う場面もあるので、不定期でも全員で意見交換や勉強会ができるようにしていきたいと思えます。</p>				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
7 研究・研修について	(1) 研究・研修は保育目標の具体化につながるものであるか。		○	
	(2) 研究・研修の計画・運営は適切か。		○	
	(3) 研究・研修の成果を日常保育に活かし、乳幼児の育ちに反映できているか。	○		
	(4) 研修の実践による子どもの理解が深まりを見せているか。		○	
	(5) 各種研究会・研修会・講習会等への参加体制ができているか。		○	
	(6) 各種研修会・講習会等での内容を園内に報告・還元しているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
<p>○保育士のキャリアアップ研修を今年度も受けることができ良かったです。</p> <p>○昨年同様園内研修としての時間は取れませんでした。園児の様子に気になることがあったり保育士が対応に困った時、保育士全体で意見を出しその対応策を考えられたことは良かったです。</p>				

8 情報について	(1) 子どもや保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っているか。	○		
	(2) 知り得た情報等の守秘義務を果たしているか。	○		
	(3) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○		
	(4) 各帳簿は、適切な方法で作成・処理しているか。	○		
	(5) 園だより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○	
	(6) 掲示板、掲示場所を適切かつ効果的に活用しているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
<p>○子どもの情報等は、守秘義務とプライバシー保護の観点で職員のみ周知し、書類等は鍵付の棚で保管し、利用する場合は目的を知らせ開けるように配慮しています。</p>				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
9 地域連携・子育て支援について	(1) 地域との関係が適切に保たれているか。		○	
	(2) 保育園が有する機能を地域に還元しているか。		○	
	(3) 地域に住む子ども同士や親子と一緒に遊ぶことが出来るような場の設定を行っているか。	○		
	(4) 子どもの興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○	
	(5) 育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○	
	(6) 専門機関との連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
○今年も感染症予防の為、例年していた地域との交流事業がまったくできなくなってしまい残念でした。				

総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・今年も感染予防対策の中、人数制限をしながらも運動会、遊戯会、保育参観、試食会などの行事ができたことは良かったです。地域との交流が3年間できないでいることは残念です。 ・毎日の保育に追われ、改善策を立てても実現できないことや、保育士間での情報の共有ができていないことが、一番の課題だと感じます。次年度はそれが少しでも改善していけるように努めていきます。 ・少人数での取り組みとして、今年度は空き教室を食堂として園児全員で食事をしたり、リンゴ遠足は2歳児も参加するなど、異年齢児で過ごす時間が増えたことにより、思いやる気持ちを園児が持てるようになってきたこと、未満児は真似してやってみようとするが増えたと思います。来年度もできることを工夫して取り組んでいきたいと思っています。
------	---